

平成 24 年度第 2 回社会保険等システム検討委員会 議事録

日時：平成 24 年 6 月 30 日（土）18：00～19：30

会場：本郷三丁目 LEN 貸会議室本郷ファーストビル 9F

出席：川上紀明（担当理事）、原田繁（委員長）、平泉裕（副委員長）、伊藤淳二、
遠藤健司、武富英二

討議事項

1. 副委員長、5. 書記の選出、新しい外保連委員の選出

副委員長：平泉

書記：遠藤

外保連委員

手術委員：平泉、遠藤

処置委員：山縣

検査：青田

実務：平泉、遠藤

麻酔：久野木

画像診断試案作成ワーキンググループ：遠藤

欠席する場合は、メールで代理を立てるようにする。

2. 自己血の問題、日整会からの診療報酬改定における議事事項

適応について、K923「外傷を除く」となっているが、理由が不明。注記の部分をどのように変更するか。本来の禁忌は、細菌感染症、悪性腫瘍、抗凝固剤使用、羊水混入。

→厚生省：保健局医療課に学会として外傷を入れるよう正式に要望する。平泉先生に厚労省にアポをとっていただき折衝することとなった。

小児に関して→青本輸血部分 p.776 K923 に記載あり

4. 目安箱

ホームページに投函された保険関係の意見を各委員が自分の PC で閲覧する

5. その他：外保連の予定

1) 平成 26 年度新設・改正・材料要望に向けての予定

今年 10 月までに要望項目を決定

平成 25 年 1 月中旬アンケートの締切（簡単な内容記載）

3 月下旬 要望の web 入力開始依頼

4 月下旬 入力締切

現在 内視鏡視下椎弓切除形成術と経皮的内視鏡視下椎間板摘出術の 2 件を提案
脊椎再手術（脊柱管内神経癒着剥離術：再手術に限定）を追加してはという意見あり
10 月までに、さらに他にないかも含めて検討することになった。

- 2) ・手術試案 8 版における手術材料未入力手術への入力が 10 月末までに必要。病院バランス考え最低 5 施設で合計 50 例必要
- ・本年 9, 10 月頃、外保連による手術の実態調査（手術時間、人数など）が行われ、その結果をもとに、手術試案の各術式の適正化が検討される予定
- 上記 2 案件とも委員各 11 施設で 55 例目標（委員の他に武者先生、佐藤先生、清水先生にも協力お願いします）
- 昨年 9 月に外保連からエクセルで送られたものを遠藤が皆様をお願いします。

3) 手術改定結果に伴う調査

厚労省から 22 年度、24 年度改定で外科系にプラスになったデータ（整形外科学会員の増加や整形外科医の労働環境の改善など）を発信しないと、26 年度の診療報酬のプラスはありえない旨の指摘があった。各学会で厚労省に発信する必要がある。

各施設での具体例（新規器具の購入など）をあげ、原田委員長にメールで 7 月 15 日までに送付し、厚労省に自己血問題で折衝する際に持参することとした。